

水産業施策の展開は

中長期施策を考える



山崎 泰昌 議員
(親交クラブ)



山田町の経済を支えています (山田魚市場)

問 水産業への施策の内容として、町は生産力向上だけを考えているのか。それとも町の基幹産業として町全体への経済効果を考えているのか。

佐藤町長 漁家の生産力向上によって成り立っているのが山田町の経済力だと認識しており、中長

期的視点に立って施策を検討している。

問 水産業は造船、機械、漁具、燃料、加工場等々関連産業が多い「裾野が広い産業」であり、町勢発展のためには関連業者への対応も必要不可欠であると考えるが。

町長 震災後を見据えて今年度、農林水産省より副町長を迎えたので一緒に事業を考えてもらう。

問 震災後、養殖漁業と採捕漁業の生産高が逆転した。町としては現状のままが良いと考えているのか。

甲斐谷水産商工課長 25年度以降、養殖漁業は復旧してきているので、26年度実績を見て考えたいが、町としては養殖の方に力を入れていく。

問 養殖漁業も町にとって必要であり、町のスタンスは納得できるが、漁家の個人収入を上げるの

は磯根資源であるので、もっと力を入れてほしいが。

水産商工課長 県のセン

町道整備の状況は

早期に対応する

問 船越小学校から浦の浜仮設までの町道整備が進まない。震災直後から住民は我慢してきたので早期整備を要望する。

川守田建設課長 工事車の通行により、路面が沈下していることは認識しているが、全面改修となると多額の費用が必要であり、長期計画で考える必要がある。損傷が激しい部分は維持補修で対応する。

問 早い時期から湾台から前須賀までの町道復旧が交通環境改善の策だと提案してきたが、復旧のめどは。

ターが本格復旧したので連絡を密にし対応していく。町単独の事業としては採算が取れない。

建設課長 県の防潮堤と防潮林工事があり調整中だが、29年度に整備する。今年中に仮設道路を整備する。

問 震災後の住民意見聴取会で、田の浜地区では今までの町の事業の検証を求める意見があった。事業途中の避難道、観光道路の完成が町勢発展につながるのでは。

水産商工課長 小谷島側の道路が壊れていて現在調査している。荒神からの避難道は今年度測量し、総合戦略に盛り込む。